

③重点的取組に対する実施状況 P24～P26、P45・46

重点課題1：生活習慣病予防の取組

【重点事業1】受診率向上へのしくみづくり

【令和2年度に取り組んだこと】
(1)意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ● 「せいか子育て情報誌 SukuSuku」において、女性がん検診受診啓発記事を掲載
(2)受診の障害を取り除く <ul style="list-style-type: none"> ● 乳がん検診指定医療機関を1医療機関追加 ● 女性がん検診において70歳未満の対象者全員に受診券送付 ● 働く世代が受診しやすいよう、集団がん検診を休日に実施
(3)きっかけの提供 <ul style="list-style-type: none"> ● 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」で健(検)診や医療の受診歴のない対象者に受診勧奨通知の送付や、訪問等で、受診支援を実施

【重点事業2】健(検)診受診後のフォロー体制の確立

【令和2年度に取り組んだこと】
<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導対象者に、訪問や面談、電話での保健指導を継続実施(感染拡大防止のため、集団指導での講話を中止し、個別指導を強化) ● 糖尿病重症化予防事業をの継続実施(受診勧奨・個別保健指導) <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業(町との協定締結企業)と連携し特定健診指定医療機関へ啓発強化を行った ・ 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」において後期高齢者に受診勧奨を実施

【その他：「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」】

【令和2年度に取り組んだこと】
<ul style="list-style-type: none"> ● 全対象者へアンケートを実施し、フレイル予防のパンフレットの配布と啓発を実施 ● フレイルのハイリスク者(認知症、低栄養、口腔の3項目の複数該当者)に対し、保健師・栄養士・歯科衛生士による訪問や面談・電話で個別相談を実施

【令和3年度に取り組むこと】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 健(検)診を受診しやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診受診場所を山城南圏域の医療機関に拡大 ・ 集団がん検診において、託児や休日の継続実施 ・ 乳がん検診指定医療機関を追加 ○ 健診受診後の支援の充実を図る <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導対象者に対し、保健指導(栄養士・歯科衛生士)を個別にて実施希望者にも、結果返却会を個別に実施 ・ 感染防止対策を講じ、健康教室(メタボリックシンドローム・糖尿病重症化予防)を再開 ○ 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・ ハイリスク者に対し個別での保健指導を継続実施 ・ 地域のサロン等に出向き、フレイル予防の啓発・相談事業を実施 ・ 商業施設や公共施設でのフレイル予防のポスター掲示やリーフレットの配架による啓発を継続 ・ 後期高齢者対象とした歯科検診の実施

重点課題2:つながりを意識した子育て力の強化

【重点事業3】妊娠期からの切れ目ない支援の推進・充実を図る

【令和2年度に取り組んだこと】

(1)妊娠期からの切れ目ない支援体制づくり

- 妊娠届出時や妊娠後期アンケートにおいて、家族のサポートが十分得られず「育児不安がある」等の妊産婦が安心して子育てができるよう、妊娠期から産後ケア事業について周知を図った。
＜産後ケア事業利用実績(令和3年1月末時点)＞
利用者数 実:3人(延:6人)
[内訳]宿泊型:11泊(7泊×1人、1泊×4回×1人)、日帰り型:1回×1人
- 母子保健担当内での情報共有と関係機関との連携行い、切れ目なく適切なタイミングで必要な支援につなげた。
- コロナ禍でのDV・虐待等の増加を防ぐため、子育て支援課・子育て支援センターと連携し、育児等の相談先のポスターを作成し、地域の商業施設に掲示した。
- 死産や流産を経験した方の相談場所をホームページに掲載し、必要なケアを受けられるよう情報提供
- 多胎妊婦に対する妊婦健診の助成項目を追加し、多胎妊婦の支援の内容の充実を図った
- 多胎妊婦へ「ふたご手帖」を配布し、多胎育児の情報提供を実施

(2)つながりづくり

- パパママ教室(平日編)をオンラインで実施。里帰り中や産後の方も参加でき、コロナ禍でもつながりが持てるよう取り組んだ
- 自粛生活での育児ストレス等の軽減のため、乳幼児健康診査中止期間中は電話や訪問等で育児相談を実施し、支援者とのつながりづくりに取り組んだ
- 主任民生児童委員や地区の育児サークルの担当者と連携し、必要者に対する支援を実施

【令和3年度に取り組むこと】

- 産後の経済的負担を軽減し安心して育児に臨めるよう、産婦健診の助成の実施
- 必要な情報をタイムリーに提供できるよう、電子型母子手帳アプリの導入
- 令和2年度中止となった乳幼児健診(9～10か月児健診、2歳4か月児健診)を感染症対策を実施したうえで再開

重点課題3:住民参加・参画型健康づくりの推進

【重点事業4】協働による健康づくり活動の発展

【令和2年度に取り組んだこと】

(1)広報・周知の強化

- 家族の健康カレンダーや「文化サークル・体育クラブ紹介冊子」にせいか365プロジェクトについて掲載し周知
- がん検診や結果相談会での資料の配架と、必要者に案内
- ホームページに活動報告を掲載

(2)住民参加・参画型プロジェクト支援

- 新規プロジェクト「いつも野菜カフェレストラン」活動支援の実施。令和3年度よりせいか365プロジェクトへ新規参画が決定
- せいか365プロジェクトネットワーク会議にて、団体同士で情報交換・協力する体制が定着した

【令和3年度に取り組むこと】

- 新規プロジェクトと既存のプロジェクトの交流支援
- 令和元年度に実施したせいか365プロジェクト活動育成セミナーの参加者に対するプロジェクトへの参画支援